

2025-26年度 国際ロータリー第2650地区ガバナー月信

2026 April

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

4

Vol.10

ロータリー
特別月間
4月

環境月間

RI第2650地区基本方針

未来へつなぐ

北野天満宮 青もみじと山吹

2025-26年度 ガバナー

小崎 学

2025-26年度 国際ロータリー会長

フランチェスコ・アレツツォ

Rotary
第2650地区



よいことの
ために
手を取りあおう



国際ロータリー第2650地区
2025-26年度ガバナー

小 崎 学 (京都北ロータリークラブ)

私の年度も残すところ3ヶ月となりました。この記事が皆さんに届く頃には桜の花も満開を迎えているころだと思います。そして4月4日、5日はいよいよ地区大会です。今回の会場である国立京都国際会館も今年で60周年をむかえます。「国連総会議場のような国際会議のための建築を日本にも造ろう」という構想のもと、1963年、国による公開コンペが行われ、195点の応募作の中から大谷幸夫氏の案が選ばれました。京都の下鴨の地で生まれ育ち、子供の頃は宝ヶ池で遊び、大人になってこの会場で数々の会議やイベントを体験した私にとって思い出の詰まった場所であります。

4月は「環境月間」です。重点分野のあらゆるプロジェクトは、合言葉の一つである「環境の持続可能性」から大きなメリットを受けることになるでしょう。水源となる流域の状態が悪い場合、例えば、水源となる河川が産業廃棄物や人間、動物の排泄物で汚れていると、人びとに安全な水を提供することは極めて難しくなります。また、学校の汚染された井戸が原因で子どもたちが病気になると、基本的教育と識字率向上にも支障が出てしまいます。気候パターンが変化すると、病原体を持った昆虫が地理的範囲を広げ、ひいては人間の健康にも影響を及ぼします。さらに、水戦争や気候変動避難民が発生すると、平和の実現や紛争解決がさらに複雑化してしまいます。また、十分なエネルギーがなければ経済発展も見込めません。もし水に関するすべてのプロジェクトをディーゼルポンプから風力や太陽光にシフトすることができれば、ロータリーは世界で大規模な奉仕活動を行うことができるようになるでしょう。これこそ拡張性のあるプロジェクトであると言えます。

トピックスとして2月には初めての試みですが、クラブサポートミーティングを各クラブ会長対象に開催いたしました。元々国内のRI役員の方からの提案で、各地区ガバナーがクラブ会長を対象に3か月に一度開催する事を奨励されておりました。当地区の規模から考えると、ガバナー補佐単位で、地域の実情を一番掌握されている補佐の皆さんをファシリテーターとしてみようと考えました。時期も年度の折り返し、次年度も立ち上がる2月に開催することに致しました。参加人数は10名程度で時間も1時間でしたが、クラブ現状や事業の進捗、会員増強等思っていた以上に積極的な意見交換ができました。そして何よりクラブ会長の皆さんの、元気なお姿を画面越しですが拝見させて頂けた事がとても嬉しかったです。ご参加頂いた会長様、そして会議をリードして頂いたガバナー補佐の皆様にご改めて感謝申し上げます。次年度の準備も順調に進み、私の年度も仕上げの時期に入りました。初心を忘れず、情熱を持ち続けて最後まで職責を全うする所存でございます。今しばらくお付き合いのほどよろしくお願い申し上げます。

R L I 研修会について～ファシリテーションの学び

日頃は RLI 研修会にご参加、ご協力ありがとうございます。

RLI 研修会は、毎年、「パートⅠ、Ⅱ、Ⅲ」として年に3回の研修、そして「卒後コース」、「ファシリテーター研修会」を開催しています。

ただ講義を聴くという研修スタイルではなく、参加者によるディスカッションを主体とした研修会であり、毎年80名ほどが参加されています。

5名から8名の参加者でグループをつくり、先出しされていた質問に対して、自分の考えやクラブの現状、将来のビジョンを語り合います。

他クラブからの参加者の意見や、クラブの様子が聞ける研修会は貴重であり、参加者どうし議論することが、自分の立ち位置や自クラブに対しての考え方や運営方法などを再確認できるきっかけとなり、ここでの学びがポジティブな変化につながっていきます。ロータリアンとして、多くの情報や気づきが得られる研修会であるのが魅力です。

RLIパートⅠは、私たちロータリアンひとり一人が学ぶべきポイントが各セッションのテーマ
RLIパートⅡは、私たちの所属するロータリークラブが、より成長するための課題がテーマ
RLIパートⅢは、地域へ、世界へとリーダーシップをより発揮していくことをテーマにして、ディスカッションを行っています。

R Iにおいても、研修スタイルが、ただ情報を得るためだけの Training から、自ら参加し学ぶという Learning に変わってきています。そのR Iの自ら学んでいく『ラーニング』スタイルの研修会では、ファシリテーターの重要性、そして、ファシリテーション力が注目されるようになってきました。ファシリテーション力は、ロータリー活動だけでなく、職業においても、地域においても、必要なスキルであると考えています。

RLI 研修は、ディスカッションを通じて、ファシリテーションの学びができることも、大きな魅力です。

一人でも多くの方に RLI 研修会に参加していただきたいと思っています。ロータリーの学び、ファシリテーションの学び、そして多くの友に出会ってください。

RLI 研修会への参加、お待ちしております。

地区 R L I 委員会 委員長 野口 真理子 (大津中央RC)





はじめに

国際ロータリー第 2650 地区（以下、RI2650 地区）は、1995 年以降、西太平洋地域を中心にポリオ根絶を最優先課題として掲げ、世界保健機関西太平洋地域事務局（WHO/WPRO）および各国政府と連携しながら、拡大予防接種計画（EPI）に参画してまいりました。2025 年 11 月 11 日、東京において WHO/WPRO 主催による「ポリオ根絶 25 周年記念式典」が開催され、RI2650 地区は特別招待を受け、これまでの活動報告を行いました。この機会に、RI2650 地区が西太平洋地域のポリオ根絶にどのような貢献を果たしてきたのかを、会員の皆様に改めてご紹介いたします。

活動前の背景

世界では、ポリオによって命を落としたり、生涯にわたり歩行困難となったりする子どもたちが多数存在していました。1978～79 年、国際ロータリー（以下、RI）はフィリピンにおいて 600 万人の子どもにポリオワクチンを接種し、大きな成果を上げました。これを契機に、世界からポリオを根絶しようという機運が高まりました。裏千家十五代家元・故 千玄室大宗匠は、1980～81 年度に RI 理事を務められました。1985 年に RI が「PolioPlus（ポリオ根絶計画）」を正式に宣言した当時、大宗匠は RI 元理事、ロータリー財団元管理委員という立場にありました。PolioPlus 構想は 1980 年代初頭から議論されており、大宗匠はその構想形成期の意思決定に深く関与され、国際ロータリーにおけるポリオ根絶活動の理念形成に大きな役割を果たされたのです。

活動開始のきっかけ

1994 年、RI2650 地区において、小西清茂地区世界社会奉仕委員長（京都南 RC）が次年度の活動について、当時の林一彦ガバナー（武生 RC）に相談し、ポリオ根絶支援に取り組んではとの助言を受けました。小西氏は直ちにマニラの WHO/WPRO を訪問し、当時、拡大予防接種・感染症対策部門の部長として、西太平洋地域のポリオ根絶戦略の策定と実施を主導しておられた尾身茂先生に相談しました。ここから、RI2650 地区と WHO/WPRO の二人三脚による協力関係が始まったのです。尾身先生は後に、1999 年 2 月から 2009 年 1 月まで WHO/WPRO 地域事務局長（Regional Director）を務められました。

ポリオ根絶活動の開始

RI2650 地区のポリオミッションは、1995 年のカンボジア（写真 1）から始まりました。当時は政府軍とポル・ポト派との戦闘が続いており、ワクチン投与中にも砲声がかかるような、危険と隣り合わせの活動でした。その後、1996 年 モンゴル、1997 年 ネパール（WHO

南東アジア地域) (写真2)、1998年 ラオス、1999年 ベトナム、2000年中国雲南省 (写真3) 活動を継続しました。

1997年3月、カンボジアの男児の症例を最後に、西太平洋地域では野生株ポリオウイルス (WPV) の発生が確認されなくなりました。その後3年間の監視期間を経て、2000年10月29日、京都で開催された「西太平洋地域ポリオ根絶会議」において、WHO 西太平洋地域のポリオ根絶認定委員会が、同地域における野生株ポリオウイルスの伝播遮断 (polio-free) を公式に認定・宣言しました。これは、WHOの6地域のうちアメリカ地域に次ぐ、世界で2番目の快挙でした。(写真4、5)



■ ワクチン投与支援の継続

野生株が根絶されても、海外からのウイルス侵入を防がなければ、その状態を維持することはできません。RI2650地区は、その後もワクチン投与支援を継続しました。活動はWHO/WPROのポリオにとどまらず、2001年バヌアツ (フィラリア駆除薬支援) (写真6)、2005年ミャンマー (WHO 南東アジア地域) でのポリオ活動 (写真7、8、9)、同年マーシャル諸島 (はしか予防活動)、医療廃棄物焼却炉の建設支援 (バヌアツ、ソロモン、フィジー他)、校舎やトイレ建設など教育環境の整備 (ベトナム、ミャンマー、ソロモン、トンガ、フィジー他) などへと広がっていきました (写真10、11、12)。1995年以来、RI2650地区の拠出額は、2025年11月現在で約250万ドルに達しています。RI2650地区は、WHO/WPROにとって重要なパートナーとして広く認識されているのです。2025年11月11日のポリオ根絶25周年記念式典への特別招待は、その長年の貢献に対する評価の証でもありました。



■ これからのRI2650地区への期待

1985年に宣言されたPolioPlusは、ポリオのみならず、麻疹、ジフテリア、結核、破傷風、百日咳などへのワクチン接種支援を含む構想でした。近年ではさらに、コールドチェーン整備、疾病サーベイランス体制強化、人材育成、医療廃棄物処理施設整備、水質保全、補装具 (松葉杖・車椅子) 支援など、感染症対策インフラ全体の整備が重要視されています。交通が発達した現

代においては、これらの支援は日本を新たな感染症から守るためにも意義ある取り組みといえます。

さらに WHO/WPRO では、肥満や糖尿病などの非感染性疾患（NCD）対策、地震・津波・台風などの災害対策、災害復興支援といった課題にも取り組んでいます。この地域の人々の健康を守るために、私たちが担うべき奉仕の役割は、これからも大きいと言えるでしょう。

■ 謝辞

西太平洋地域からポリオを根絶できたのは、RI 第 2650 地区の先輩会員のたゆまぬ努力の賜物です。また、本報告で紹介した一連の国際保健活動は、WHO 西太平洋地域事務局（WHO/WPRO）をはじめ、関係各国保健当局、厚労省、外務省、各国日本大使館、および独立行政法人国際協力機構（JICA）とその青年海外協力隊（JOCV）など協力機関のご指導のもと実施されました。とりわけ、元 WHO/WPRO の佐藤芳邦先生には多大なるご指導を賜りました。ここに深甚なる謝意を表します。

国際ロータリーにおけるポリオ根絶活動の理念形成と国際的基盤の確立に多大な貢献を果たされた、裏千家十五代家元・故 千玄室大宗匠に深い敬意を表します。

本稿を、当地区のポリオ根絶活動を最後まで導かれた恩師、故小西清茂会員（京都南 RC）、そして、一緒にポリオ根絶に取り組んでくれた学友、故喜多弘輝君（奈良市）に捧げます。

松原 六郎（福井フェニックスRC） 貴志 英生（福井東RC）

2026-27年度 財団補助金管理セミナーにて

1月24日、リーガロイヤルホテル京都にて、小崎ガバナー、平野ガバナーエレクトほか地区役員・クラブ会員の皆様をお迎えして、次年度財団補助金管理セミナーが開催されました。

私は福井県に居住しております。大寒波による積雪の影響で、当日の電車の運行が危ぶまれましたので、前日午後京都へ移動、一泊して当日を迎えました。

現在のセミナーは、聴講するだけのセミナーではなく、参加者の皆様に、事前に「イーラーニング」を受講していただき、当日はテーブルごとの協議をし、クラブの経験を伝え合うセミナーへと変わりました。

残念ながら、天候の都合で当日参加が叶わなかったクラブ様が複数ありましたので、急遽、当日の様子を YouTube にてライブ配信いたしました。あくまでも、今後に向けた試験的な対応でしたので、欠席クラブ様には情報をお伝えしていません。

今後はこの経験を通して、リアルに見聞きすることが出来るセミナー開催に向けて準備したいと思えます。

<https://youtube.com/live/WtOeyij1ol0>



地区ロータリー財団委員会 副委員長 大橋 浩志（福井フェニックスRC）



2026年1月会員数の増減および出席率表

京都府(42クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	1月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	出席率 %
綾部	25	2	0	27	25	4	2	92.00
福知山	43	0	0	43	42	2	1	87.21
福知山西南	50	0	0	50	49	2	1	96.27
亀岡	31	0	0	31	31	1	1	100.00
亀岡中央	13	0	0	13	13	0	0	65.38
京丹後	24	0	0	24	22	2	0	70.46
京都	203	2	0	205	193	16	4	99.35
京都伏見	90	1	0	91	88	5	2	85.77
京都平安	18	0	0	18	18	0	0	89.00
京都東	88	0	0	88	86	3	1	84.60
京都東山	50	0	0	50	52	0	2	74.37
京都北東	17	0	0	17	17	0	0	80.95
京都イブニング	13	0	0	13	12	1	0	83.33
京都城陽	27	0	0	27	27	0	0	81.37
京都桂川	38	1	0	39	35	4	0	77.93
京都北	60	0	1	59	56	5	2	83.98
京都南	256	3	2	257	252	12	7	78.56
京都モーニング	41	0	0	41	39	3	1	
京都紫野	40	0	0	40	37	3	0	68.94
京都中	36	1	0	37	35	2	0	89.07
京都西	96	0	0	96	94	3	1	98.43
京都乙訓	34	5	0	39	32	7	0	93.58
京都洛中	75	0	0	75	73	3	1	100.00
京都洛北	74	1	0	75	73	3	1	100.00
京都洛南	26	0	0	26	27	0	1	83.77
京都洛西	52	0	0	52	51	2	1	78.84
京都洛東	40	0	0	40	38	3	1	79.38
京都嵯峨野	22	0	0	22	20	2	0	83.19
京都さくら	35	0	0	35	30	5	0	77.22
京都西北	22	0	0	22	21	1	0	80.92
京都西南	51	1	1	51	48	4	1	82.90
京都紫竹	23	0	0	23	23	1	1	86.71
京都朱雀	42	0	0	42	42	2	2	79.71
京都田辺	14	0	0	14	15	0	1	100.00
京都山城	10	0	0	10	12	0	2	90.00
京都八幡	14	0	0	14	15	0	1	90.00
舞鶴	27	0	0	27	28	0	1	83.80
舞鶴東	32	0	0	32	32	0	0	83.25
宮津	23	1	0	24	21	5	2	92.47
園部	21	1	0	22	20	3	1	100.00
宇治	31	0	1	30	29	4	3	82.40
宇治鳳凰	32	1	0	33	31	2	0	78.96
小計	1,959	20	5	1,974	1,904	115	45	

奈良県(14クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	1月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	出席率 %
あすか	45	0	0	45	45	0	0	87.69
五條	18	3	0	21	19	4	2	89.11
平城京	11	0	0	11	7	4	0	63.63
橿原	49	1	0	50	49	3	2	84.74
奈良	138	0	0	138	132	10	4	87.49
奈良中央	22	0	0	22	20	2	0	42.50
奈良東	23	0	0	23	19	4	0	78.57
奈良西	21	0	0	21	20	1	0	74.60
奈良大宮	67	0	0	67	64	3	0	100.00
桜井	11	0	0	11	9	2	0	100.00
大和郡山	39	0	0	39	40	0	1	84.08
やまとまほろば	23	0	0	23	22	1	0	95.45
やまと西和	26	0	0	26	26	1	1	81.89
大和高田	85	1	0	86	87	2	3	89.55
小計	577	5	0	582	559	37	13	

滋賀県(21クラブ+1衛星)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	1月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	出席率 %
びわ湖八幡	95	1	0	96	92	6	2	83.83
(びわ湖八幡フォロ ー-サテライト)		(1)		(30)		(4)		
五個荘能登川	31	0	0	31	31	1	1	84.02
東近江	40	0	0	40	40	0	0	75.21
彦根	47	0	1	46	46	2	2	79.94
彦根南	54	0	0	54	54	1	1	66.77
甲賀	36	0	0	36	32	5	1	82.80
湖南	44	0	0	44	41	3	0	94.54
草津	33	0	0	33	31	2	0	84.84
守山	45	4	0	49	44	6	1	94.43
長浜	58	0	1	57	54	4	1	81.19
長浜東	58	0	0	58	58	0	0	91.44
長浜北	30	1	0	31	29	4	2	73.33
近江八幡	38	0	0	38	37	2	1	95.83
大津	121	0	0	121	114	9	2	100.00
大津中央	19	0	0	19	21	0	2	77.19
大津東	15	0	0	15	18	1	4	86.67
大津西	19	0	0	19	19	1	1	83.63
栗東	58	2	0	60	59	4	3	78.52
高島	52	0	0	52	51	1	0	100.00
野洲	34	2	0	36	31	5	0	94.23
八日市南	46	0	0	46	47	0	1	92.32
小計	973	10	2	981	949	57	25	

福井県(18クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	1月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	出席率 %
福井	140	1	0	141	126	18	3	81.06
福井あじさい	51	1	0	52	51	1	0	69.02
福井フェニックス	51	0	0	51	46	5	0	80.39
福井東	48	0	0	48	46	2	0	91.30
福井北	102	1	0	103	102	3	2	71.68
福井南	23	0	0	23	23	1	1	68.12
福井西	23	0	1	22	22	1	1	87.32
福井水仙	23	0	1	22	22	2	3	68.18
勝山	22	0	1	21	22	1	2	81.18
丸岡	29	1	0	30	27	3	0	68.96
三国	17	0	0	17	17	0	0	94.00
大野	40	0	0	40	39	2	1	78.49
鯖江	32	0	1	31	34	0	3	62.50
武生	44	1	0	45	43	2	0	76.52
武生府中	21	0	0	21	23	0	2	87.30
敦賀	25	0	0	25	23	2	0	70.80
敦賀西	13	0	0	13	13	0	0	80.77
若狭	15	0	0	15	12	3	0	83.34
小計	719	5	4	720	691	46	18	

Eクラブ(1クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	1月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	出席率 %
日本ロータリー Eクラブ2650	24	0	0	24	25	1	2	
小計	24	0	0	24	25	1	2	

合計(96クラブ+1衛星)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	1月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計
合計	4,253	40	11	4,282	4,128	256	103

■表作成にあたって

- ・会員数に、名誉会員は含まれておりません。
- ・入退会者数、1月会員数および入退会者累計数は1月末現在です。
- ・「期首会員数」は、2025年6月末会員数より、7月1日退会者1名を引いた数です。
- ・「退会累計」は、7月1日退会者1名も含んでおります。
- ・ロータリー衛星クラブ(サテライトクラブ)の入退会者数はスポンサークラブに含んでおります。

巡り歩き 歳時記

「豊臣兄弟！北近江長浜 大河ドラマ館」と「豊公園の桜」

滋賀

豊臣兄弟ゆかりの長浜・歴史浪漫散歩



歴史浪漫と春の彩りに包まれる、滋賀県・長浜をご紹介します。長浜は、大河ドラマの舞台として今、最も熱い注目を集める地です。

現在、長浜では「北近江豊臣博覧会」が開催中。なかでも「豊臣兄弟！北近江長浜大河ドラマ館」では、衣装や小道具の展示、独自映像を通じて秀吉・秀長兄弟の絆を深く体感でき、ドラマの世界観に没入できると好評を博しています。

歴史の余韻に浸った後は、近隣の豊公園

(長浜城跡)の桜へ。「日本さくら名所100選」の約550本のソメイヨシノは圧巻です。「日本の夕陽百選」に輝く琵琶湖の夕景とともに眺める桜は格別で、散策の締めくくりに贅沢に彩ります。

大河の世界観を感じたのち、長浜城で天下人の人生に想いを馳せる。そんな、浪漫あふれる絶景散歩はいかがでしょうか。

※状況により内容が変更される場合があります。詳しくは公式サイトをご覧ください。

豊臣兄弟！北近江長浜 大河ドラマ館

長浜別院 大通寺 総会所

期間：2026年2月1日～12月20日 9時～16時30分

入場料：600円



詳しくはホームページをご確認ください

2026年1月 会員の動き

入会者

クラブ名	氏名	職業分類
綾部	四方 宏治	公認会計士
綾部	帆風 佳奈	リサイクル(古紙その他回収を含む)
京都	垣内 永次	半導体・装置製造
京都	坂田 玲子	ホテル
京都伏見	風間 佳幸	不動産管理
京都桂川	松居 豊	不動産業
京都南	水口 英樹	ホテル
京都南	岡田 豊	信用金庫
京都南	寺田 正典	不動産仲介業
京都中	西島 誠	廃棄物処理
京都乙訓	山田 幸裕	介護事業
京都乙訓	星山 祐輝	児童福祉事業
京都乙訓	山下 徹	建設業
京都乙訓	平木 竜馬	地方議会
京都乙訓	池袋 晴彦	卓球チーム運営
京都洛北	河上 英治	薬局
京都西南	倉ヶ市 茂樹	不動産仲介業
宮津	上田 活裕	証券業
園部	柴田 洋希	料理(和風)
宇治鳳凰	中井 孝紀	不動産管理

退会者

クラブ名	氏名	職業分類
びわ湖八幡(サテライトクラブ)	谷村 彰夫	果樹園
守山	山本 一孝	包装資材販売
守山	斎藤 一馬	建築業
守山	南出 誠	土木業
守山	荒木 義雄	リゾートホテル
長浜北	石田 猛	舗装工事
栗東	織川 真志	生命保険
栗東	富原 唯	ビルメンテナンス
野洲	久松 利嗣	左官業
野洲	岡田 祥	生花販売
福井	坂川 佳之	総合建設業
福井あじさい	松田 典起	神職
福井北	加藤 二三子	建築
丸岡	今野 行生	金属工業
武生	桶谷 洋介	食品製造
五條	右馬 良平	建設業
五條	小笠原 秀雄	障がい者施設
五條	堀川 博司	タイヤ販売
檀原	中林 孝仁	医薬品卸売販売
大和高田	吉村 始	書籍出版

クラブ名	氏名
京都北	池田 憲一郎
宇治	佐野 洋一
彦根	吉田 浩一
福井西	森口 雅仁
鯖江	窪田 健一

ご逝去

クラブ名	氏名
京都南	桑田 昌宏
京都南	中山 徹
京都西南	川瀬 圓造
長浜	岡野 徳一郎
福井水山	永井 弘明
勝山	洲上 勝夫

(順不同・敬称略)

Kyoto Shiga Fukui Nara



国際ロータリー第2650地区

2025-26年度 ガバナー

小崎 学

ガバナー事務所

〒600-8216 京都府京都市下京区東塩小路町614番地

関電不動産京都ビル5階520号室

TEL:075-343-2650/075-353-2650 FAX:075-343-2651

E-mail:gov2025-26@rid2650.gr.jp